

お・葬・式 便・利・帳

喪家様用
(ご葬儀の流れ)



目次

ご葬儀の流れ

I. ご葬儀の流れ

- ① 「もしも」の前に・・・事前のご相談
- ② ご臨終
- ③ ご遺体移送
- ④ ご遺体のご安置と枕飾り
- ⑤ お打ち合せ
- ⑥ 納棺
- ⑦ お通夜
- ⑧ ご葬儀
- ⑨ ご出棺
- ⑩ 火葬
- ⑪ 初七日法要・仕上げ
- ⑫ 中陰(お逮夜)・忌明け
- ⑬ 納骨
- ⑭ ご葬儀後のこと

ご葬儀の流れ

① 「もしも」の前に・・・事前のご相談

○事前に確認・準備しておくこと

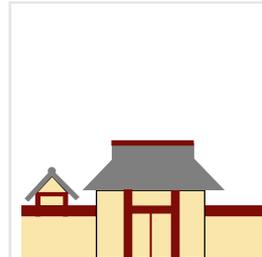
- 菩提寺(教会・神社)とその連絡先(電話番号)



- 宗教、宗派

宗教には、仏式・神式・キリスト教から無宗教まであり、同じ宗教でもさまざまな宗派があります。宗教・宗派によりお飾りのしかた・作法が異なります。

- ご葬儀を行なう場所

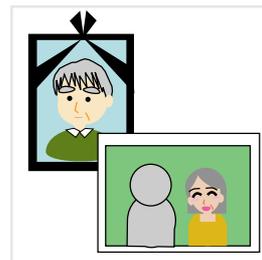


- 喪主

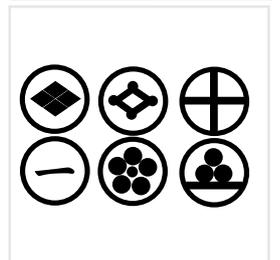
- 家族・親戚、会社・友人・団体などの連絡先(電話番号)



- 祭壇にお飾りする写真



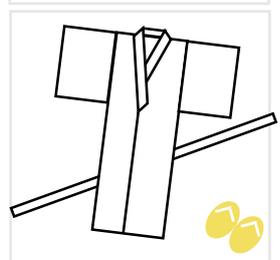
- ご家紋



- お棺に納めたい品

ご本人が愛用されていたり、ご家族様がぜひ旅立ちに持参させたい品等。

- 一般弔問・会葬者の予測



- お部屋の整理

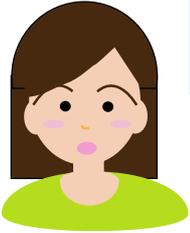
故人様をご安置し、親戚をお迎えできるように部屋を整えます。



ご葬儀の流れ

① 「もしも」の前に・・・事前のご相談

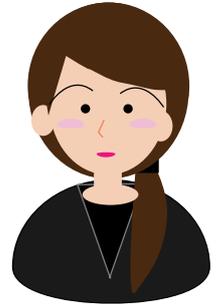
よくある質問



Q. お葬式のことを相談するのは不謹慎のように思われそう・・・

A. 不謹慎にはあたりません。

核家族化の進展や、ご近所・ご親戚の方々との付き合いの希薄化、介護・医療費負担の増大等、経済的不安を背景にご葬儀に関する「事前相談」が確実に増えてきております。お気軽に弊社にお立寄り下さい。



Q. 葬儀業者から積立を勧められるが・・・

A. 慎重に考えたいうえでどうすればいいか決めましょう。

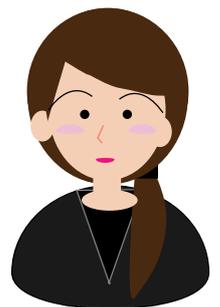
葬儀業者がいう「積立(月掛け)」は銀行や郵便局の積立とは全く別のものです。『万が一に備えて・・・』という勧誘文句だと思いますが、掛けている途中で亡くなられた時は、残りを葬儀代と一緒に払わなければならないわけですし、満期になっても銀行積立のように利息がつくこともありません。満期後の解約も手数料がかかります。もちろんお布施などにも使用できません。

葬儀というのは決して安い商品ではありません。熱心に勧められたからといって、軽い気持ちで考えず、慎重に考えたいうえでどうするかを決めましょう。

ワンポイント

ご葬儀、慌てることのない備えを

弊社オリジナル会員制度「創想倶楽部」では、会館使用料金の割引等、会員様だけのお得な特典をご用意させていただいております。



喪家様用

ご葬儀の流れ

② ご臨終

まずは「城陽葬祭(じょうようそうさい)杉村」までご連絡ください。

0774-52-2140 24時間 365日 受付

ご葬儀は突然のこと。

ご遺族様は大きな悲しみに包まれながらも、同時に様々なことを決めなければなりません。

『どうしていいのかわからない』という状況に陥ってしまわれる場合がほとんどです。

後になって「ああすれば良かった」「予想外の費用がかかった」など、悔やまれる方も少なくありません。

深い悲しみや喪失感の中で、ご葬儀の準備を進めることは心身ともに大きな負担となります。

そんなお声にお応えできるように弊社では「事前準備・事前相談」をおすすめさせて頂いております。

時間に余裕のある時にご葬儀についての情報を集めて、価格や場所、会葬者などたくさんの項目、選択肢に対してある程度の目安を付けておくことで「もしもの時」の心のご負担は軽減されると考えております。

また、事前にご要望などをご確認、相談されることで「その方らしいご葬儀」を執り行うことができます。

どんな些細なことでもご相談ください。

ご葬儀の流れ

② ご臨終

ご自宅で亡くなられた場合

ただちに主治医を呼び、亡くなられた場合は死亡診断書を発行してもらいます。

主治医にどうしても連絡とれない場合は、110番をして警察医を呼びます。

医師によって自然死が確認されるまでは、ご遺体を動かしてはいけません。

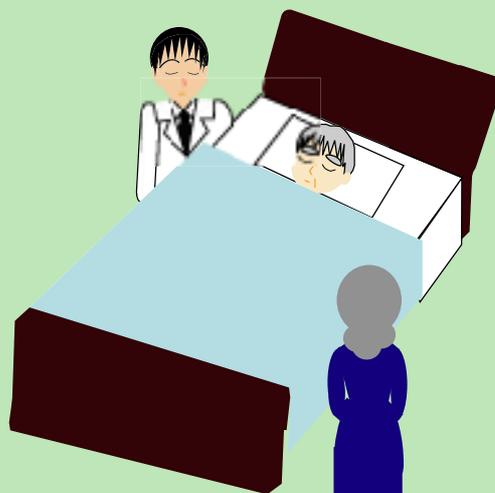
●死因が不明な場合は、解剖などにより死因を特定します。

●これらの確認の後、城陽葬祭杉村までお電話ください。

●ご自宅でのご安置となる場合は、枕飾りなどをお持ちさせていただき、故人様をご安置させていただきます。

ご自宅以外でのご安置をご希望される場合は、アドバンスホール城陽霊安室をご案内させていただきます。

(※但し、霊安室の使用状況によりご希望に添えられない事もございます。)



② ご臨終

病院で亡くなられた場合

病院担当者の方に寝台車搬送は「城陽葬祭杉村」とお伝えください。

- 病院で亡くなられた場合、看護師より処置が施されます。
- 主治医に死亡診断書を発行してもらいます。

弊社へご連絡いただければ寝台車にてお迎えにあがりご自宅へ搬送いたします。

注意！！

病院で亡くなられた場合、寝台車の手配は病院がしてくれるものだと思いついでおられる方がいらっしゃいますが、それは誤りです。基本的に病院と葬儀社が連携、提携しているということは法律で認められておりません。

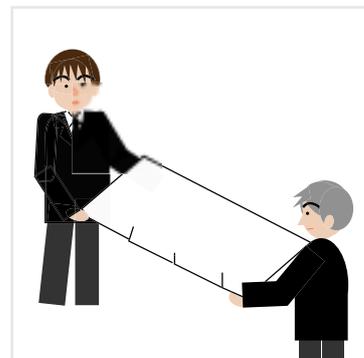


ご葬儀の流れ

③ ご遺体移送

病院で亡くなられた場合、ご遺体をご自宅など、所定のご安置場所まで搬送しなくてはなりません。そのため、ご遺体を搬送する手だてをする必要があります。

また、病院の外へご遺体を運ぶには、医師の書いた「死亡診断書」が必要ですし、ご遺体をご安置する場所ではご遺族の方にお出迎えいただくのが望ましいです。



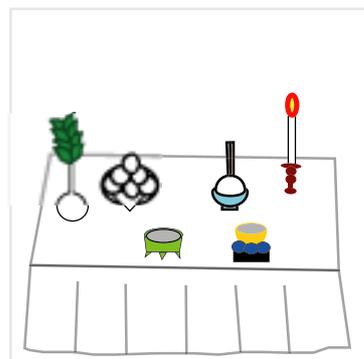
④ ご遺体のご安置と枕飾り

○お迎えの準備をします。

- 故人様を寝かせる為の布団や枕を用意します。
- 枕飾りをします。
(弊社にてお飾りさせていただきます)。

○菩提寺へ連絡します。

○お寺様に枕経をあげていただきます。

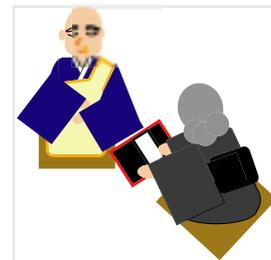


ご葬儀の流れ

⑤ お打合わせ

○お寺様とのお打ち合わせ

- くわしい葬儀日程
- 喪主様の名
- お寺様の人数・戒名や法名の相談
- お布施について
- お寺様の送迎について



○弊社とのご葬儀に関する詳細なお打ち合わせ



○故人様に縁のある方々へ連絡

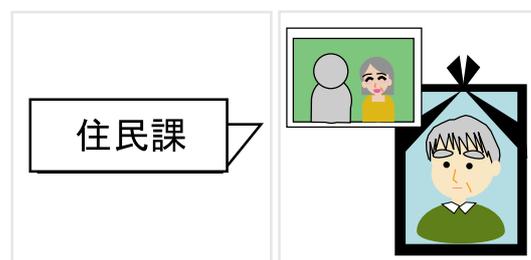
- 身近な人から連絡
 1. 家族
 2. 近親者(血筋の濃い親族)
 3. 特に親しい友人・知人
 4. 勤務先や学校※事前に連絡リストを作成しておく事をお薦めします。



- 連絡の方法
故人様の氏名、故人様のいらっしゃる場所、電話番号を知らせ、お通夜、ご葬儀の日時を伝えます。
※ご葬儀の日時等が決まってから連絡されると良いでしょう。

○死亡診断書を市町村役場に提出

○遺影用写真の用意



ご葬儀の流れ

⑤ お打合わせ

よくあるご質問



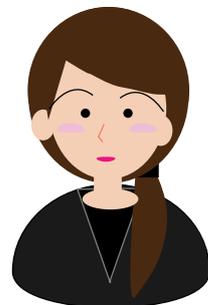
Q. 知らせなければいけない人に、知らせるのを忘れてしまった
・・・

A. 後日、ハガキや封書でお知らせしても大丈夫。

「もしも」の時、ご葬儀までは十分な時間ありません。
混乱の中、こんな失礼をしてしまうことも・・・

こんな時は、後日ハガキや封書でお知らせしても大丈夫です。事情を説明して理解を得ましょう。

ただ、この場合「香典」の催促とわれてしまうこともあります。急ぐ必要がなければ年末の喪中通知でお知らせしてもよいでしょう。



ワンポイントアドバイス

エンディングノートの活用

このようなトラブルを防ぐためにも「もしも」の時に知らせてもらいたい相手の名簿を元気な時に作成しておくのが一番です。最近は「エンディングノート」と呼ばれるものが本屋さんでも売られていて、知らせたい人の名簿を書く欄や自分のご葬儀についての希望などを書く欄があります。それらを利用するとよいでしょう。



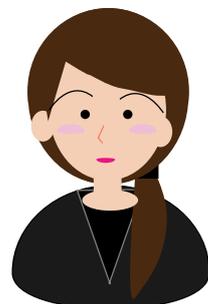
弊社では「エンディングノート」をご用意させていただいております。
お気軽にお声をかけてください。



Q. お布施の額をお寺様に尋ねるのは失礼にあたりますか？
また、お布施を渡すタイミングを教えてください。

A. お布施の額をお寺様に尋ねることは、失礼にはあたりません。
そのままお聞きになられて大丈夫です。

お布施をお寺様に渡すタイミングは、地域によって異なることもありますが『ご葬儀前』にお渡しになられる方が多いようです。



ご葬儀の流れ

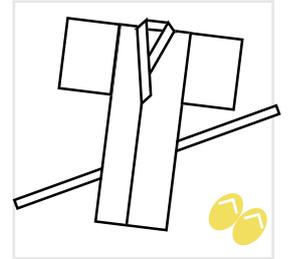
⑥ 納棺

○納棺の儀

●身支度を整えます。

生前ご愛用されていた着物を着せます。仏式では経帷子、神式では白い小袖などを着せます。

男性の場合、ひげを剃り、女性の場合は髪を整え薄化粧をします。



湯灌の儀

ご家族様のご要望に応じて湯灌（ゆかん）もさせていただきます。

城陽葬祭杉村では、ご遺族様が故人様に「こうしてあげたい」という想いを大切に、少しでも安らかに、そして穏やかなお気持ちでお過ごしいただけますよう心がけております。

納棺師より

納棺のお時間は、ご遺族様と故人様の大切なひとときです。だからこそ、ご遺族様の皆様とともに故人様に感謝の気持ちを込めたお支度をさせていただきたいと私たちは考えます。長年暮らしたご家族との思い出に「ありがとう」の心を伝える時。私たちはそのお手伝いをさせていただきます。

湯灌

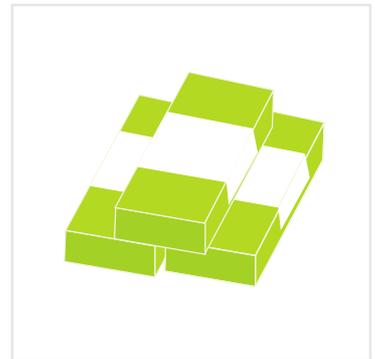
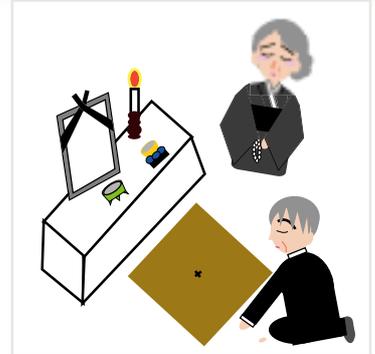
納棺時、ご遺体を棺に納める前に湯水でぬぐい清めること。



ご葬儀の流れ

⑦ お通夜

- お寺様をお迎えし、控室へご案内し着替えていただきます。
- 着席します。
一般焼香台に近い所から喪主様または、ご遺族・ご親族様の順に着席します。
- お寺様に読経をお願いします。
- 読経中に焼香のご案内がありましたら、一般焼香、喪主様、または、ご遺族・ご親族様の順に焼香します。
※地域によって異なります。
- 弔問の方に粗供養をお渡しします。



⑧ ご葬儀

- 会葬者様の受付を行います。
- お寺様をお迎えし、控室へご案内し着替えていただきます。
- 着席します。
一般焼香台に近い所から喪主様または、ご遺族・ご親族様の順に着席します。
- お寺様に読経をお願いします。
- 読経中に焼香のご案内がありましたら、一般焼香、喪主様、または、ご遺族・ご親族様の順に焼香します。
※地域によって異なります。
- 喪主様またはご遺族・ご親族様代表の方がご挨拶します。



葬儀と告別式

「葬儀」はご遺族・ご親族様等、故人様と縁の深い方々が故人様の冥福を祈る儀式のこと。

「告別式」は一般の方々が別れを惜しむための式です。一般的には「葬儀」と「告別式」を併せて行います。

ご葬儀の流れ

⑨ ご出棺

○出棺の儀

故人様と最後のお別れをします。



⑩ 火葬

○火葬場へ向かいます。

○火葬場の事務室へ火葬許可証を提出します。

○火葬炉の前でお寺様の読経と焼香があります。

○ご遺族・ご親族様は焼香します。

○火葬されている間、控室にて待ちます。

○火葬が終わると、弊社スタッフの指示により収骨室に集まり遺骨を拾います。

※一般的には木のお箸で遺骨を拾い、骨箱に入れます。

○斎場から遺骨を持ち帰ります。

○ご遺骨を中陰飾りの祭壇に安置し、灯明をつけ、線香をあげてお寺様に読経をしていただきます。



ご葬儀の流れ

⑪ 仕上げ・初七日法要

○初七日法要

最近では、初七日法要をご葬儀当日に、おこなう場合があります。

- お寺様や参列される方の予定を調整して時間を決めます。
- お寺様に読経をお願いします。
- 料理などでおもてなしします。



○仕上げ

葬儀の間にお世話になった方やその他多忙の中を手伝ってくれた人々に対して、労をねぎらい、感謝の意味をこめて、酒や料理を振舞います。

⑫ 中陰(お逮夜)・忌明け

○忌日ごとにお寺様に読経をお願いする為、日時の打ち合わせを行います。

○忌明けに後、忌明挨拶状香典返しの手配を早めに済ませます。

中陰

一説には、人が亡くなって次の生を得る間の期間。満中陰は忌明けのこと。

お逮夜

一般的に四十九日や一周忌など、定められた供養日の前日や、命日の前夜を指す。

⑬ 納骨

○忌明の後、仏壇・お墓を用意します。

○お寺様と相談の上、日時を決定すると良いでしょう。



ご葬儀の流れ

⑭ ご葬儀後のこと

ご葬儀を終えた後の供養に関することについても弊社で承っております。

○ご葬儀後の仏事行事のご案内

忌日表を作成し、これからの諸手続きや供養に関する全てをお知らせいたします。

○香典帳の整理

五十音順にリストを整理・作成いたします。

○忌明状の作成及びお礼状の作成

忌明状の作成及び、お世話になった方々や供物をいただく方々へお出しする御礼状を作成・印刷いたします。
また、宛名書きの代行も承ります。

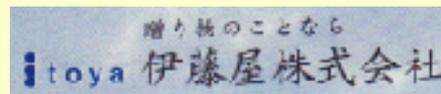
○返礼品の準備

お世話になった方々への御礼品や高額な香典の半返しなど、豊富な品数の中からお選びいただき、梱包から発送まで責任を持って代行を承ります。

○喪中はがきの用意

年末(10月～12月)には、年賀欠礼のはがきを出します。

※上記5点については弊社協力店
伊藤屋株式会社にて対応させて
いただいております。



<http://ito-ya.biz/works.html>

○各種手続きのご案内

ご遺族様に支給される葬祭費(国保)や埋葬料(社保)の手続き、年金・名義変更など、各種手続きをリストアップし、必要書類と窓口をお知らせいたします。

○本位牌の準備

忌明けもしくは四十九日までに、塗りの位牌を用意し、白木の位牌と取り替えます。

○仏壇の準備

○墓の準備

○忌明け法要の準備

料理、引き出物の準備はもちろん、お寺様との打ち合わせ事項から仏壇の飾り方や法要の進め方、御会食時のご挨拶など、法要に関する全てをお手伝いさせていただきます。

